

# 「環境と資源から見る国際社会」

# 21世紀の世界と日本



AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

愛知万博10周年！  
あいちフェア協賛事業



## 申込必要

全4回：13:30～16:40

受講料：1,000円(全4回分)

募集人数：120名(先着順)

募集期間：10月16日(金)まで

## 講座概要

2011年、世界人口が70億人を超えました。20世紀後半以降、私たちの暮らす惑星は「宇宙船地球号」と呼ばれ、環境と資源が有限であることが強く意識されるようになりました。しかし、その後も人口は増え続け、新興国が世界経済の重要な担い手として登場する一方で、二酸化炭素排出の問題や原子力利用のありかた、食の安全や再生エネルギーの今後をめぐる議論など、環境と資源をめぐる問題は山積しています。人口が百億人に達する日が迫りつつあるなかで、21世紀の私たち人類の暮らしはどうあるべきなのでしょう。

国際社会の重要な問題であるとともに、私たちの身近なテーマでもある「環境と資源」について、シリーズで学ぶ公開講座を開きます。

10/24 (土) 愛知県立大学 長久手キャンパス S棟201教室  
人間と環境の共存の原点を見える  
—アフリカにおけるフィールドワークから—

「生態人類学への誘い：人類と環境の700万年史」

講師=亀井 伸孝氏(愛知県立大学外国語学部国際関係学科 准教授)

「野生生物保全の観点から見た資源開発と国際支援」

講師=西原 智昭氏(Wildlife Conservation Society, コンゴ共和国在住)

11/7 (土) 愛知県立大学 長久手キャンパス K棟(学術文化交流センター)多目的ホール  
私たちを取りまく「食」を考える  
—日本の里山、アジアとの関わり—

「現代日本社会において猟師として生きる」

講師=千松 信也氏(猟師)

「アジアにおける食料貿易と(和食)」

講師=西野 真由氏(愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授)

11/28 (土) 愛知県立大学 長久手キャンパス K棟(学術文化交流センター)多目的ホール  
資源利用のこれまでとこれから —民族学の視点、経済学の視点—

「極限の地で生きてきた人々：アンデスとヒマラヤのフィールドから学ぶ」

講師=稲村 哲也氏(放送大学教養学部教授、愛知県立大学名誉教授)

「シェール革命と世界情勢の激変」

講師=草野 昭一氏(愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授)

12/12 (土) 愛知県立大学 長久手キャンパス S棟201教室  
資源・エネルギー政策と地域社会 —福島とカタール—ニヤの事例—

「3.11原子力災害後の人と野生動植物の関係変化：農山村の暮らしから」

講師=西崎 伸子氏(福島大学行政政策学類 准教授)

「カタール—ニヤの独立派が構想する新国家の資源・エネルギー・環境問題」

講師=奥野 良知氏(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語専攻 准教授)

【申込方法】※手話通訳をご希望の方は、事前にご連絡ください。

①往復ハガキまたはEメールに「郵便番号、氏名(ふりがな)、電話番号、公開講座希望」をご記入の上、右記問合せ先住所へお送りください。

②本学地域連携センターウェブサイトへアクセス頂き、特設ページより所定の申込メールフォームに情報をご入力ください。  
→ <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>

お問い合わせおよびお申込み先

〒480-1198 愛知県長久手市茨ケ廻間1522-3

愛知県立大学 研究支援・地域連携課

電話番号：0561-76-8843(直通) Eメール：renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

交通アクセス

●リニモ「藤が丘」駅から八草行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分

●リニモ「八草」駅から藤が丘行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分

※ 駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関でご来場ください。

